

協働パイロット事業 (H25) 企画提案書

団体名：静岡学習支援ネットワーク

1. 事業の名称

無償学習支援教室事業

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

本事業では、経済的な困難や生活環境などによって十分な教育を受ける機会が失われている中学生に対し、無償の学習支援を行う。学習支援を行うのは、有志で集まった静岡大学や静岡県立大学、常葉大学などに所属している大学生スタッフである。

昨今、「子どもの貧困」と呼ばれる問題に注目が集まりつつあり、国会では対策法が設立されるなど、少しずつ対策が整い始めている。しかしながら、実際には現状でも数多くの家庭が貧困に苦しめられており、中には満足のいく教育を受けることができない家庭も多く存在している。また、いじめや家庭環境などが原因で学校に通うことができず、社会の輪に入ることのできない子ども達も存在している。

静岡学習支援ネットワークは、このような原因によって学習の意欲があるにも関わらず、十分な学習機会に恵まれない中学生に対し、大学生スタッフが学習支援を行うことによって一人一人にあった形で学力を向上させることを目指す。また、学校や家庭、塾とは違った、子どもたちの新たな居場所になることを目指し、子どもたちが安心して自由に学ぶことができる状況を作り出すことも目指して活動を行う。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと (市の役割)

静岡学習支援ネットワークは、学習支援教室の運営、及びそのために必要な一切の事業を行う。

行政には、教室運営のために必要な諸経費 (スタッフの交通費や謝礼を含む) の一部負担を希望する。現在、静岡学習支援ネットワークの抱える課題の一つに、経営面での収入の少なさがある。本事業では、スタッフが子どもをマンツーマン形式、もしくはそれに近い形で学習支援を行うことを目指している。しかしながら、そのために必要なスタッフを確保するためには無俸給では限界があり、交通費や若干の謝礼金を支払う必要があると考える。現在、支援を行っている生徒は合計で 24 名であり、それに応じてスタッフ数も多くなっており、必要になる交通費や謝礼金の額も大きくなっている。

スタッフの確保、及び定着を達成するために、行政には経済面での支援を厚く希望する。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

第一に、すべての生徒が一年間を通じて教室に通うことができることを目標とする。教室という存在が、それぞれの子どもにとっての居場所になることを目指す。

第二に、それぞれの子どもが各自にあった学習習慣を身に着けることを目指す。生徒の中には、これまでの学校生活では学習習慣が身についておらず、結果的に学校の勉強について行けなくなっている子どももあり、そこからの脱却の第一歩となることを目指す。

第三に、受験を迎える3年生の生徒全員が志望する進路に合格することを目指す。静岡学習支援ネットワークは学習塾ではないため、全生徒が学力を向上させることができるかは不透明だが、一人一人に寄り添った学習支援を行う結果として、全員の合格を目指す。

団体名：静岡学習支援ネットワーク

5. 事業計画

本年度は

| 教室名 | 期間 | 時間 | 回数 | 会場 | 対象 | 定員 | 形式 | 協力・共催 |
|--------------|-----------------|--------------------------------|----------|---------------|--|-----|--------------------|---------------|
| 宿題カフェ | 4月 ～3月 | 毎週金曜日 18:30～20:00 | 44回 | 静岡市女性 会館 | 勉強し たくて もでき ない中 学1～3 年生 | 12名 | マンツ－ マン・少 人数 | 静岡市女性 会館 |
| みらこや | 4月 ～3月 | 毎週水曜日 18:30～20:00 | 44回 | 有度生涯学 習交流館 | 勉強し たくて もでき ない中 学1～3 年生 | 12名 | マンツ－ マン・少 人数 | 有度生涯学 習交流館 |
| (仮)学習 カフェ | 8月 12月 3月 | 長期休暇 (各2～3日) 13:00～16:00 | 6～9 回 | 有度生涯学 習交流館 | 中学 1～3年 制 | 20名 | マンツ－ マン・少 人数 | 草薙児童館 |

6. スケジュール

| 月 | 学習支援事業 | その他の事業 |
|------|-------------------------------------|---------------------|
| 2月 | 会場確保・広報開始 | |
| 3月 | 関連資料作成・運営リハーサル | 第2回 活動報告会・講演会 開催 |
| 4月 | 応募締切・生徒の選定会議。教室開講 ※以後、3月まで毎週1回開講 | 部内研修会開催 |
| 5月 | | |
| 6月 | 第1回イベント開催 | |
| 7月 | 自習室の実施 | |
| 8月 | 第2回イベント | |
| 9月 | | 部内研修会開催 |
| 10月 | | 第3回 活動報告会・講演会 開催 |
| 11月 | | 内閣府委託講演会 開催 |
| 12月 | 第3回イベント開催、自習室の実施 | |
| 1月 | | |
| 2月 | | |
| 3月 | 第4回イベント・修了式開催、自習室の実施 | 第4回 活動報告会・講演会 開催 |
| (4月) | | 活動報告書作成 |

※その他、各教室の詳細なスケジュールは、別資料「宿題カフェ企画書」「みらこや企画書」を参照願います。

団体名：静岡学習支援ネットワーク

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

教室運営の母体として、静岡学習支援ネットワークが存在する。(12名)静岡学習支援ネットワークは、教室運営、及びそれらに付随する一切の業務を担当する。

また、運営にはかかわらず学習支援のみを行うボランティアスタッフ(24名)も存在している。

すべてのスタッフ・ボランティアスタッフは、静岡大学・静岡県立大学・常葉大学の有志学生である。活動を監督・管理・監修する顧問、及びスーパーバイザーを有し、主な経歴は以下の通りである。

顧問:静岡県立大学静岡県立大学国際関係学部教授 津富宏

スーパーバイザー:M-net アビニオンスクール 宮下陽子氏

スーパーバイザー:島田学園高校元教員 土居和江氏

スーパーバイザー:(特非)男女共同参画フォーラムしずおか 松下光恵氏

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

- ・学生が主体となり、活動を展開していること
- ・社会人の顧問、スーパーバイザーが活動を監督・管理・監修していること
- ・有度生涯学習交流館や、静岡市女性会館等地域の施設と協力して事業を実施していること
- ・昨年合計 10 名の中学生を継続して支援してきたこと
- ・昨年の受験生 5 名全員の進学先が決定したこと
- ・二度の報告会、自主企画講座の実績があること
- ・普段の活動を通して、関連団体とのネットワークを構築していること
- ・昨年は 10 回マス・メディアに掲載されるなど注目が高まっていること

協働パイロット事業 (H25) 見積書

団体名：静岡学習支援ネットワーク

企画のタイトル：無償学習支援教室事業

| 項目 | 金額 | 説明 |
|------------------|-------------|--|
| 講師交通費及び謝金 | 1860000 円 | 宿題カフェ@2000 円*10 人*42 回=84 万円 みらこや@2000 円*10 人*42 回=84 万円 学習カフェ@2000 円*10 人*9 回=18 万円 |
| 教材費 | 60,000 円 | @1000*5 教科*2 冊*3 学年*2 教室=6 万円 |
| イベント運営費 | 24,000 円 | @3000 円*4 回*2 教室=2.4 万円 (主にお菓子・飲み物代) |
| 講師交通費及び謝金 | 100,000 円 | @50000 円*2 回=10 万円 |
| 会議費 | 2,000 円 | 講演会の際の菓子・飲み物代 |
| 通信費 | 39,600 円 | 郵便代金 3,6 千円・携帯電話使用料 3.6 万円 |
| 消耗品費 | 106,200 円 | パソコン 5 万円・インク代 3.6 万円・文房具 2.02 万円 |
| 旅費交通費 | 80,000 円 | 県外での視察・研修等 |
| 新聞図書費 | 24,000 円 | 子供の貧困に関する書籍・資料等 |
| ボランティア保険料 | 8,000 円 | @400 円*20 人=8 千円 |
| コピー代 | 1,000 円 | |
| 広告費 | 100,000 円 | 団体紹介パンフレットの印刷、生徒募集チラシの印刷、 |
| 小計 A | 2,406,800 円 | |
| 消費税 B = A × 0.05 | 120,340 円 | |
| 合計 A + B | 2,527,140 円 | |

◎実費弁償契約の希望の有無 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

| 収入見込み額 | 金額 | 主な用途 |
|------------|---------|--------------------|
| (確定) | | |
| キリン助成金 | 300,000 | イベント運営費、報告会開催費 |
| (予定) | | |
| 静岡市母子寡婦福祉会 | 953,800 | みらこやボランティア謝金及び交通費 |
| 静岡県立大学部費 | 180,000 | 通信費、備品費、消耗品費 |
| 静岡県社会福祉協議会 | 903,000 | 宿題カフェボランティア謝金及び交通費 |
| ふれあい基金 | | |
| 自己負担 | 190,340 | 上記以外 |

企画提案の概要書

| | |
|-------------------------------------|--|
| 提案団体名 | 静岡学習支援ネットワーク |
| 企画案のタイトル | 無償学習支援教室事業 |
| 提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。) | <p>静岡学習支援ネットワークは「勉強をしたくても、できない子どもたち」の力になりたいとの思いをもった大学生が集まり、2012年2月に誕生した団体です。経済的な理由から学習塾に通えない子どもや、いじめや家庭環境などが原因で十分に学習する機会に恵まれない子どもを対象に、無償で学習支援教室を運営していきます。私たちの運営する教室は、塾でも学校でもありません。中学生一人一人と寄り添い、共に学ぶことができる場であり、また一人一人が安心して通うことのできる居場所でもあります。私たちは、このような温かい雰囲気のある教室を目指すとともに、それぞれの生徒のペースにあった学習習慣の体得や、志望する進路への進級を目指します。</p> |
| 金額 | 250,000円 |

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。